

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	教育委員会費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	01 教育総務費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 教育委員会費
当初予算額 A		2,786,000 円	目的	市教育行政の活性化を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	2,786,000 円			
人件費コスト B	0.4人役	3,098,000 円	総事業費 A+B	5,884,000 円	

定期的な教育委員会の開催、先進地視察研修、学校訪問を行い、学校との連絡を密にし、安来市教育大綱に基づき、教育問題への対処、教育行政の円滑化、活性化を図る。

- ・教育委員 4名



先進地視察の様子(福井県福井市)

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	13	事務局費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	01 教育総務費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 事務局費
当初予算額 A		5,738,000 円	目的	教育委員会事務局の円滑な事務運営を実施する。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	使用料外 3,600,000 円			
	一般財源	2,138,000 円			
人件費コスト B	0.4人役	3,098,000 円	総事業費 A+B	8,836,000 円	

学校配布物印刷、事務局の運営経費。
 教育行政の円滑な運営・振興・発展及び他団体との連携のための負担金の支出。



各種教育活動への補助を実施

					予算に関する説明書ページ数		P71																																																																														
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		学校教育課																																																																														
中事業	20	学校教育の充実			予算科目	会計	01 一般会計																																																																														
小事業	16	保健事業費				款	10 教育費																																																																														
事業開始年度		平成30年度				項	01 教育総務費																																																																														
事業進捗度(年度末目標)		-				目	02 事務局費																																																																														
当初予算額 A		9,232,000 円			目的	児童生徒、教職員の健康状態を把握し、その保持増進を図る。																																																																															
財源内訳	国・県支出金			0 円																																																																																	
	地方債			0 円																																																																																	
	その他	諸収入	1,388,000 円																																																																																		
	一般財源			7,844,000 円																																																																																	
人件費コスト B		0.6人役	4,647,000 円		総事業費 A+B	13,879,000 円																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【災害給付金】</td> <td>2,854,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,388,000円</td> <td>1,466,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>独立行政法人スポーツ振興センターと学校設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対し災害給付金（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）の支給を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>【教職員健康診断及び各種検査】</td> <td>5,070,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>5,070,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>各学校の教職員を対象に健康診断、胃がん検診及びB型肝炎抗体検査を実施する。 各小学校におけるプールの水質検査及び飲料水検査を実施し、施設の衛生管理に努める。</p> </td> </tr> <tr> <td>【就学時健康診断】</td> <td>927,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>927,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>小学校就学予定者を対象に、内科、歯科、耳鼻咽喉科及び眼科医による健康診断や視力・聴力測定及び知的発達スクリーニング検査を実施する。</p> </td> </tr> <tr> <td>【医療機関移送】</td> <td>50,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>学校管理下において被災した児童生徒について、医療機関での診察が必要であると判断した場合、タクシー等による移送を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>【学校保健会】</td> <td>153,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>153,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>安来市歯科医師会代表、保健主事、養護教諭等で構成する安来市学校保健会に対する負担金。 学校保健功労者への表彰、学校保健に関する研修、さらには保護者も対象とした講演会を開催するなど、学校医や学校薬剤師、養護教諭等が連携し学校保健の普及と向上に努める。</p> </td> </tr> <tr> <td>【フッ化物洗口事業】</td> <td>178,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>178,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <p>永久歯のむし歯予防対策として効果が高いとされるフッ化物によるフッ化物洗口を実施し、学童期のむし歯本数の低減を図る。 フッ化物洗口薬品（ミラノール顆粒他）及び容器の購入代。</p> </td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【災害給付金】	2,854,000円	0円	0円	1,388,000円	1,466,000円	<p>独立行政法人スポーツ振興センターと学校設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対し災害給付金（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）の支給を行う。</p>						【教職員健康診断及び各種検査】	5,070,000円	0円	0円	0円	5,070,000円	<p>各学校の教職員を対象に健康診断、胃がん検診及びB型肝炎抗体検査を実施する。 各小学校におけるプールの水質検査及び飲料水検査を実施し、施設の衛生管理に努める。</p>						【就学時健康診断】	927,000円	0円	0円	0円	927,000円	<p>小学校就学予定者を対象に、内科、歯科、耳鼻咽喉科及び眼科医による健康診断や視力・聴力測定及び知的発達スクリーニング検査を実施する。</p>						【医療機関移送】	50,000円	0円	0円	0円	50,000円	<p>学校管理下において被災した児童生徒について、医療機関での診察が必要であると判断した場合、タクシー等による移送を行う。</p>						【学校保健会】	153,000円	0円	0円	0円	153,000円	<p>安来市歯科医師会代表、保健主事、養護教諭等で構成する安来市学校保健会に対する負担金。 学校保健功労者への表彰、学校保健に関する研修、さらには保護者も対象とした講演会を開催するなど、学校医や学校薬剤師、養護教諭等が連携し学校保健の普及と向上に努める。</p>						【フッ化物洗口事業】	178,000円	0円	0円	0円	178,000円	<p>永久歯のむし歯予防対策として効果が高いとされるフッ化物によるフッ化物洗口を実施し、学童期のむし歯本数の低減を図る。 フッ化物洗口薬品（ミラノール顆粒他）及び容器の購入代。</p>					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																
【災害給付金】	2,854,000円	0円	0円	1,388,000円	1,466,000円																																																																																
<p>独立行政法人スポーツ振興センターと学校設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒等の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対し災害給付金（医療費、障害見舞金又は死亡見舞金）の支給を行う。</p>																																																																																					
【教職員健康診断及び各種検査】	5,070,000円	0円	0円	0円	5,070,000円																																																																																
<p>各学校の教職員を対象に健康診断、胃がん検診及びB型肝炎抗体検査を実施する。 各小学校におけるプールの水質検査及び飲料水検査を実施し、施設の衛生管理に努める。</p>																																																																																					
【就学時健康診断】	927,000円	0円	0円	0円	927,000円																																																																																
<p>小学校就学予定者を対象に、内科、歯科、耳鼻咽喉科及び眼科医による健康診断や視力・聴力測定及び知的発達スクリーニング検査を実施する。</p>																																																																																					
【医療機関移送】	50,000円	0円	0円	0円	50,000円																																																																																
<p>学校管理下において被災した児童生徒について、医療機関での診察が必要であると判断した場合、タクシー等による移送を行う。</p>																																																																																					
【学校保健会】	153,000円	0円	0円	0円	153,000円																																																																																
<p>安来市歯科医師会代表、保健主事、養護教諭等で構成する安来市学校保健会に対する負担金。 学校保健功労者への表彰、学校保健に関する研修、さらには保護者も対象とした講演会を開催するなど、学校医や学校薬剤師、養護教諭等が連携し学校保健の普及と向上に努める。</p>																																																																																					
【フッ化物洗口事業】	178,000円	0円	0円	0円	178,000円																																																																																
<p>永久歯のむし歯予防対策として効果が高いとされるフッ化物によるフッ化物洗口を実施し、学童期のむし歯本数の低減を図る。 フッ化物洗口薬品（ミラノール顆粒他）及び容器の購入代。</p>																																																																																					

大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課
中事業	30	生涯学習の推進		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	ふるさと教育推進事業費			款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度			項	01 教育総務費
事業進捗度(年度末目標)		—			目	02 事務局費
当初予算額 A		7,598,000 円		目的	家庭や地域と連携し、地域の教育支援を活用できる「ふるさと」を切り口に児童・生徒の豊かな人間性や社会性を育む。	
財源内訳	国・県支出金	県	1,875,000 円			
	地方債		0 円			
	その他	基金	5,000,000 円			
	一般財源		723,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	9,921,500 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【ふるさと教育推進事業】	6,752,000円	1,725,000円	0円	5,000,000円	27,000円
--------------	------------	------------	----	------------	---------

地域の「人・もの・こと」に関わる学習を通して地域に対する誇りと愛着をもち地域に貢献する心情や態度を育てる。

全国学力調査調査の児童・生徒質問紙の回答割合（地域行事への参加）

小学生 平成28年度85.2%

中学生 平成28年度54.6%

成果指標	現状値	目標値
全国学力調査の児童質問紙への回答割合（地域行事への参加） 小学生	79.1%	87.0%

成果指標	現状値	目標値
全国学力調査の生徒質問紙への回答割合（地域行事への参加） 中学生	56.2%	56.0%

【ふるさとに根ざした道徳教育推進事業】	696,000円	0円	0円	0円	696,000円
---------------------	----------	----	----	----	----------

島根県の中学校道徳教材に採用された「加納菫菫」に関連付け、加納美術館において名誉館長から直接講話を聞くなどし、平和を大切に思う心情をより育むとともに、ふるさとを誇りに思う心情を醸成する。

【地域と中学校の文化部活動支援事業】	150,000円	150,000円	0円	0円	0円
--------------------	----------	----------	----	----	----

中学校の文化部活動による自発的な地域貢献活動・異世代交流活動を支援することにより、地域における中学校文化部活動への理解と関心を高揚させるとともに、中学校文化部活動の活性化を図る。中学校3校を指定し実施。



【ふるさとに根ざした道徳教育推進事業】
平和についての講話（安来第一中学校）



【ふるさと教育推進事業】
水質調査による環境学習（荒島小学校）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	19	外国語指導事業費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	01 教育総務費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	03 教育支援事業費
当初予算額 A		24,762,000 円	目的	各幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、児童・生徒の国際理解の促進や英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入 53,000 円			
	一般財源	24,709,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	27,085,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【外国語指導事業】	24,762,000円	0円	0円	53,000円	24,709,000円

J E Tプログラムを活用し、市内各認定子ども園、保育所、幼稚園及び小中学校に外国語指導助手（ALT）5名を巡回指導させ、児童・生徒が外国語（英語）を身近に感じることで他国文化への興味・関心を養うとともに、コミュニケーション能力の向上を図る。

平成32年度完全実施となる新学習指導要領の小学校外国語教育に対応するため、ALTを増員し外国語活動及び英語科に向けた先行実施に取り組む。

平成26年	ALT	3名	小中学校	22校	
平成27年		4名	小中学校	22校	幼稚園5園
平成28年		4名	小中学校	22校	幼稚園、保育所、認定こども園15所園
平成29年		4名	小中学校	22校	幼稚園、保育所、認定こども園15所園
平成30年		5名	小中学校	22校	幼稚園、保育所、認定こども園15所園

成果指標	現状値	目標値
未就学児の幼児が英語に親しむ活動の実施（15所園）	3週間に1回	3週間に1回



ALTと幼児との活動



ALTと児童との活動



ALTと生徒との活動

					予算に関する説明書ページ数		P71																																																																																																						
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		学校教育課																																																																																																						
中事業	20	学校教育の充実			予算科目	会計	01 一般会計																																																																																																						
小事業	22	教育支援事業費				款	10 教育費																																																																																																						
事業開始年度		平成30年度				項	01 教育総務費																																																																																																						
事業進捗度(年度末目標)		-				目	03 教育支援事業費																																																																																																						
当初予算額 A		91,454,000 円			目的	児童・生徒の個性に応じた教育の推進及び家庭や地域に対する働きかけにより、教育力の向上を図る。																																																																																																							
財源内訳	国・県支出金	国1/2	6,115,000 円																																																																																																										
	地方債		0 円																																																																																																										
	その他	基金外	40,093,000 円																																																																																																										
	一般財源		45,246,000 円																																																																																																										
人件費コスト B		1.5人役	11,617,500 円		総事業費 A+B	103,071,500 円																																																																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【特別支援教育事業】</td> <td>24,842,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>15,072,000円</td> <td>9,770,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">指導講師及び該当校に支援員を配置し、個別に配慮を必要とする児童・生徒に対する支援を行うとともに、研修会等を通じて教職員の指導や支援等の向上を図る。 小学校は1日5時間、中学校は1日6時間支援員を配置し、特別支援教育の充実を図り、一人一人の学びを保障する。</td> </tr> <tr> <td>【学校人権同和教育事業】</td> <td>3,029,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>6,000円</td> <td>3,023,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">指導講師による各校での職員研修や指導助言、学校人権・同和教育推進連絡協議会を通じ中学校区ごとの研究会開催や講演会の開催などにより市内幼稚園・小中学校の人権・同和教育の推進を図る。</td> </tr> <tr> <td>【連携教育推進事業】</td> <td>1,260,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,260,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">各中学校区ごとに小中学校が相互の連絡調整や研修会等の実施、さらには保護者や地域への啓発を行うなどし、児童・生徒の学力向上や生徒指導上の諸課題の解決に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>【いじめ防止対策推進事業】</td> <td>4,250,000円</td> <td>743,000円</td> <td>0円</td> <td>6,000円</td> <td>3,501,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">いじめ相談窓口相談員を配置し、教育相談の視点からスクールカウンセラー未配置校や教育支援センターとの連携を強化し、不登校相談やいじめ防止に関する専門的な教育相談を行う。また、いじめの早期発見・対応のためのアンケート調査を実施し支援の必要な児童等への対応を行う。</td> </tr> <tr> <td>【子どもと親の相談員配置事業】</td> <td>916,000円</td> <td>904,000円</td> <td>0円</td> <td>2,000円</td> <td>10,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">子どもと親の相談員を配置し、児童の悩み相談、家庭と地域、小中学校間や児童福祉施設等との連携支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>【スクールソーシャルワーカー配置事業】</td> <td>2,381,000円</td> <td>2,352,000円</td> <td>0円</td> <td>7,000円</td> <td>22,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">児童・生徒の様々な環境に働きかけたり関係機関等とのネットワークを活用するなど多様な支援を行うことで、いじめや不登校などの生徒指導上の課題に対応する。</td> </tr> <tr> <td>【就学移行支援事業】</td> <td>585,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>585,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">小児科医師等による面接相談や発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者に対し継続した電話相談の実施や『すこやか教室』での療育を行う。</td> </tr> <tr> <td>【指導主事派遣事業】</td> <td>11,742,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>11,742,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">島根県から派遣された3名の指導主事により、特別支援教育や児童・生徒の学力向上支援等、多岐にわたる教育課題について指導や支援を行う。</td> </tr> </tbody> </table>								【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【特別支援教育事業】	24,842,000円	0円	0円	15,072,000円	9,770,000円	指導講師及び該当校に支援員を配置し、個別に配慮を必要とする児童・生徒に対する支援を行うとともに、研修会等を通じて教職員の指導や支援等の向上を図る。 小学校は1日5時間、中学校は1日6時間支援員を配置し、特別支援教育の充実を図り、一人一人の学びを保障する。						【学校人権同和教育事業】	3,029,000円	0円	0円	6,000円	3,023,000円	指導講師による各校での職員研修や指導助言、学校人権・同和教育推進連絡協議会を通じ中学校区ごとの研究会開催や講演会の開催などにより市内幼稚園・小中学校の人権・同和教育の推進を図る。						【連携教育推進事業】	1,260,000円	0円	0円	0円	1,260,000円	各中学校区ごとに小中学校が相互の連絡調整や研修会等の実施、さらには保護者や地域への啓発を行うなどし、児童・生徒の学力向上や生徒指導上の諸課題の解決に取り組む。						【いじめ防止対策推進事業】	4,250,000円	743,000円	0円	6,000円	3,501,000円	いじめ相談窓口相談員を配置し、教育相談の視点からスクールカウンセラー未配置校や教育支援センターとの連携を強化し、不登校相談やいじめ防止に関する専門的な教育相談を行う。また、いじめの早期発見・対応のためのアンケート調査を実施し支援の必要な児童等への対応を行う。						【子どもと親の相談員配置事業】	916,000円	904,000円	0円	2,000円	10,000円	子どもと親の相談員を配置し、児童の悩み相談、家庭と地域、小中学校間や児童福祉施設等との連携支援を行う。						【スクールソーシャルワーカー配置事業】	2,381,000円	2,352,000円	0円	7,000円	22,000円	児童・生徒の様々な環境に働きかけたり関係機関等とのネットワークを活用するなど多様な支援を行うことで、いじめや不登校などの生徒指導上の課題に対応する。						【就学移行支援事業】	585,000円	0円	0円	0円	585,000円	小児科医師等による面接相談や発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者に対し継続した電話相談の実施や『すこやか教室』での療育を行う。						【指導主事派遣事業】	11,742,000円	0円	0円	0円	11,742,000円	島根県から派遣された3名の指導主事により、特別支援教育や児童・生徒の学力向上支援等、多岐にわたる教育課題について指導や支援を行う。					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																																																								
【特別支援教育事業】	24,842,000円	0円	0円	15,072,000円	9,770,000円																																																																																																								
指導講師及び該当校に支援員を配置し、個別に配慮を必要とする児童・生徒に対する支援を行うとともに、研修会等を通じて教職員の指導や支援等の向上を図る。 小学校は1日5時間、中学校は1日6時間支援員を配置し、特別支援教育の充実を図り、一人一人の学びを保障する。																																																																																																													
【学校人権同和教育事業】	3,029,000円	0円	0円	6,000円	3,023,000円																																																																																																								
指導講師による各校での職員研修や指導助言、学校人権・同和教育推進連絡協議会を通じ中学校区ごとの研究会開催や講演会の開催などにより市内幼稚園・小中学校の人権・同和教育の推進を図る。																																																																																																													
【連携教育推進事業】	1,260,000円	0円	0円	0円	1,260,000円																																																																																																								
各中学校区ごとに小中学校が相互の連絡調整や研修会等の実施、さらには保護者や地域への啓発を行うなどし、児童・生徒の学力向上や生徒指導上の諸課題の解決に取り組む。																																																																																																													
【いじめ防止対策推進事業】	4,250,000円	743,000円	0円	6,000円	3,501,000円																																																																																																								
いじめ相談窓口相談員を配置し、教育相談の視点からスクールカウンセラー未配置校や教育支援センターとの連携を強化し、不登校相談やいじめ防止に関する専門的な教育相談を行う。また、いじめの早期発見・対応のためのアンケート調査を実施し支援の必要な児童等への対応を行う。																																																																																																													
【子どもと親の相談員配置事業】	916,000円	904,000円	0円	2,000円	10,000円																																																																																																								
子どもと親の相談員を配置し、児童の悩み相談、家庭と地域、小中学校間や児童福祉施設等との連携支援を行う。																																																																																																													
【スクールソーシャルワーカー配置事業】	2,381,000円	2,352,000円	0円	7,000円	22,000円																																																																																																								
児童・生徒の様々な環境に働きかけたり関係機関等とのネットワークを活用するなど多様な支援を行うことで、いじめや不登校などの生徒指導上の課題に対応する。																																																																																																													
【就学移行支援事業】	585,000円	0円	0円	0円	585,000円																																																																																																								
小児科医師等による面接相談や発達相談等を行うとともに、支援が必要と思われる幼児とその保護者に対し継続した電話相談の実施や『すこやか教室』での療育を行う。																																																																																																													
【指導主事派遣事業】	11,742,000円	0円	0円	0円	11,742,000円																																																																																																								
島根県から派遣された3名の指導主事により、特別支援教育や児童・生徒の学力向上支援等、多岐にわたる教育課題について指導や支援を行う。																																																																																																													

【就学援助事業】 42,085,000円 2,116,000円 0円 25,000,000円 14,969,000円

特別支援学級の児童・生徒の保護者の経済的負担の軽減及び経済的理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、学校給食費、学用品費等について必要な援助を行う。
市内全小中学校の就学援助児童生徒の学校給食費のほぼ全額の援助を行う。
また、平成29年度より新入学学用品費の国の要保護単価アップに伴い国と同額支給を行う。

【学力調査結果を踏まえた学習改善等の説明会】 86,000円 0円 0円 0円 86,000円

国立教育施策研究所によって行われる、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた説明会に参加することで、調査結果の意図、全国の学習状況を知り、今後の安来市学力向上に向けた施策に生かす。

【生徒指導研修会事業】 165,000円 0円 0円 0円 165,000円

児童・生徒の学力向上や生徒指導上の諸問題の解決に取り組むため、教職員の指導力向上を図る。

【教科用図書選択協議会事業】 113,000円 0円 0円 0円 113,000円

教科書改訂を目的とした松江採択地区教科用図書選択協議会運営のための負担金。
平成30年度教科書改訂あり。



【就学移行支援事業】
すこやか教室の活動



【学校人権同和教育事業】
全小中学校教員対象講演会（広瀬中央交流センター）

大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課
中事業	20	学校教育の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	25	教育支援センター運営事業費			款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度			項	01 教育総務費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	03 教育支援事業費
当初予算額 A		16,094,000 円		目的	心理的・情緒的な要因で学校へ登校できない状態や集団に適応できない状態にある児童・生徒の支援を行う。	
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	基金外	10,038,000 円			
	一般財源		6,056,000 円			
人件費コスト B		0.2人役	1,549,000 円	総事業費 A+B	17,643,000 円	

センター長1名、支援員及び相談員8名を配置し、心理的・情緒的な要因で登校できない状態や集団に適応できない状態にある児童・生徒の学校復帰及び社会的自立を目指した支援の場として、教育支援センター『あすなる』の運営を行う。



教育支援センターあすなるの活動

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課		
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	28	学校図書館活性化事業費		款	10 教育費	
事業開始年度		平成30年度		項	01 教育総務費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	03 教育支援事業費	
当初予算額 A		42,626,000 円		目的	読書活動と学校図書館活用教育の推進を図る。	
財源内訳	国・県支出金	県1/2	14,300,000 円			
	地方債		0 円			
	その他	諸収入	100,000 円			
	一般財源		28,226,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	44,949,500 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【学校司書等配置事業】	32,007,000円	14,300,000円	0円	96,000円	17,611,000円

全ての学校図書館に学校司書を配置することにより、学校図書館に読書センター、学習センター等の機能を持たせ、児童・生徒の読書活動が促進されるとともに学校図書館を活用した授業が展開されることで、児童・生徒の豊かな心と思考力・表現力等の育成を図る。

成果指標	現状値	目標値
一人あたり年間図書貸出数(冊)	70	70

【学校図書館活性化事業】	10,619,000円	0円	0円	4,000円	10,615,000円
--------------	-------------	----	----	--------	-------------

学校図書館支援センタースタッフ配置による支援や学校司書等に対する研修等を実施することで、学校図書館機能の充実を図る。
図書管理システムの更改等により効果的な活用を図る。



学校司書の活動

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	34	小学校管理費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	02 小学校費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 学校管理費
当初予算額 A		191,742,000 円	目的	小学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校の維持管理を行う。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	使用料外 1,282,000 円			
	一般財源	190,460,000 円			
人件費コスト B	1.3人役	10,068,500 円	総事業費 A+B	201,810,500 円	

【小学校施設維持・管理】

学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校運営の充実を図る。また、設置設備等の安全な運転と法令等を遵守できる状態に維持するため清掃、保守点検業務を執行する。

- ・市内小学校 (17校)

【安来市PTA活動交付金交付事業】

安来市小中学校のPTA活動の推進を図り、もって教育振興の拡充に資するため、安来市PTA活動交付金を交付する。

対象 安来市立小中学校のPTA、安来市PTA連合会

対象事業 安来市立小中学校のPTAが行う研修会、講演会等の開催その他これに類する事業

交付の額 1校あたり5万円×17校=85万円



劣化・故障した児童用机椅子の修繕・新調



体力向上にかかる遊具の新規設置

大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	37	小学校給食管理費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	02	小学校費
事業進捗度(年度末目標)		—			目	01	学校管理費
当初予算額 A			38,757,000 円		目的	学校給食の衛生管理を徹底し、より安全で安心できるおいしい給食を児童に提供する。	
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	基金外	30,054,000 円				
	一般財源		8,703,000 円				
人件費コスト B		16.3人役	126,243,500 円		総事業費 A+B	165,000,500 円	

学校給食の衛生管理及び提供体制を整え、児童に対し安全で安心な給食を提供するとともに、食育の推進を図る。

- ・学校給食実施校 17校(市内全小学校)
- ・自校給食実施11校

学校名	十神	島田	宇賀荘	南	能義	飯梨	比田	山佐	布部	井尻	赤屋
児童数(人)	341	135	33	71	58	49	36	13	24	25	32

- ・センター給食実施6校

学校名	社日	荒島	赤江	広瀬	安田	母里
児童数(人)	243	173	262	238	101	85

(児童数は平成30年度見込)



自校調理場での調理風景



地元食材をふんだんに使用した給食献立や行事食

大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		学校教育課
中事業	20	学校教育の充実		予算 科目	会計	01 一般会計
小事業	40	小学校保健管理費			款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度			項	02 小学校費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01 学校管理費
当初予算額 A			7,887,000 円		目的	学校医と連携を図り、児童の健康管理を充実する。
財源 内訳	国・県支出金	国1/2	313,000 円			
	地方債		0 円			
	その他		0 円			
	一般財源		7,574,000 円			
人件費コスト B		0.3人役	2,323,500 円		総事業費 A+B	10,210,500 円
【事業名称】		事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【定期健康診断】		5,714,000円	313,000円	0円	0円	5,401,000円
へき地児童生徒援助費等補助金（保健管理費）を活用し、学校医（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）、薬剤師による定期健康診断を実施する。児童の健康状態を把握するとともに、疾病の予防及び治療について指導を行う。						
・対象学年 内科，眼科，歯科：全学年 耳鼻咽喉科：1・2・5学年						
【各種検査】		1,673,000円	0円	0円	0円	1,673,000円
・血液検査、尿検査、心電図検査を実施し、児童の健康状態を把握し、疾病予防に努める。						
・対象学年 血液検査：5学年 尿検査：全学年 心電図検査：1・4学年						
【インフルエンザ対策事業】		500,000円	0円	0円	0円	500,000円
インフルエンザの予防対策として、マスク、ハンドソープ、消毒液等を購入し各施設へ配布するとともに、手洗いやうがいの励行を指導する。						

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	教育総務課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	43	小学校整備費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	02 小学校費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 学校管理費
当初予算額 A		64,356,000 円	目的	施設の維持管理の徹底及び教育環境の安全確保と向上を図る。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	過疎 43,700,000 円			
	その他	基金 20,000,000 円			
	一般財源	656,000 円			
人件費コスト B	1.0人役	7,745,000 円	総事業費 A+B	72,101,000 円	

小学校を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕、工事を実施する。

■主な工事

- 小学校給食配膳室整備2期工事（社日小、赤江小、安田小）
- 小学校消防設備修繕工事（9校）
- 小学校体育館施設改修工事（11校）



社日小給食室現況（解体）



赤江小給食室現況（給食配膳室へ改修）



安田小給食室現況（ランチルームへ改修）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	46	小学校教育振興費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	02 小学校費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 教育振興費
当初予算額 A			21,633,000 円		
財源内訳	国・県支出金	国1/2 県定額	2,811,000 円		
	地方債		0 円		
	その他		0 円		
	一般財源		18,822,000 円		
人件費コスト B		0.5人役	3,872,500 円	総事業費 A+B	25,505,500 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【小学校教育振興費】	16,073,000円	31,000円	0円	0円	16,042,000円
教材備品、図書を整備し教育環境の充実を図る。 遠距離通学児童の登下校にかかる保護者負担の軽減と安全確保を図る。 教科書改訂に伴う道徳指導書等の購入。					
【理科教育等設備整備事業】	5,560,000円	2,780,000円	0円	0円	2,780,000円
理科教育等設備整備補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図る。					



老朽化して使用できないサッカーゴール（能義小学校）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	49	スクールバス運行事業費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	02 小学校費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 教育振興費
当初予算額 A		8,811,000 円	目的	比田地区・山佐地区・布部地区の小学校統合に伴い、通学が困難な児童が円滑に登校できるようにする。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	8,811,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	11,134,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【スクールバス運行事業】	8,811,000円	0円	0円	0円	8,811,000円

平成16年度の比田・山佐・布部各地区の小学校統合により、遠距離通学となる児童が円滑に登下校できるよう運行をする。
 また、市内の小中学校の校外活動のための特別臨時便を運行する。
 スクールバスの劣化等による修繕を行う。

- (スクールバス運行コース)
- ・東比田地区～比田小学校
 - ・奥田原地区～山佐小学校
 - ・西谷地区～下布部地区～布部小学校

大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		教育総務課
中事業	20	学校教育の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	58	中学校管理費			款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度			項	03 中学校費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01 学校管理費
当初予算額 A			70,022,000 円		目的	中学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校の維持管理を行う。
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	使用料外	426,000 円			
	一般財源		69,596,000 円			
人件費コスト B		1.3人役	10,068,500 円		総事業費 A+B	80,090,500 円

学校を運営していく上で必要な経費を確保し、学校運営の充実を図る。また、設置設備等の安全な運転と法令等を遵守できる状態に維持するため清掃、保守点検業務を執行する。

・市内中学校 (5校)

【安来市PTA活動交付金交付事業】

安来市小中学校のPTA活動の推進を図り、もって教育振興の拡充に資するため、安来市PTA活動交付金を交付する。

対象 安来市立小中学校のPTA、安来市PTA連合会

対象事業 安来市立小中学校のPTAが行う研修会、講演会等の開催その他これに類する事業

交付の額 1校あたり5万円×5校=25万円



劣化・故障した生徒用机椅子の修繕・新調

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	給食教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	61	中学校給食管理費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	03 中学校費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 学校管理費
当初予算額 A		3,020,000 円	目的	市内中学校において、安全・安心かつ円滑に給食を提供する。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	3,020,000 円			
人件費コスト B	0.1人役	774,500 円	総事業費 A+B	3,794,500 円	

市内全中学校の学校給食の衛生管理及び提供体制を整え、生徒に対し安全で安心な給食を提供する。

事業費内訳

賃金（給食配膳員）	2,679,000 円
共済費	9,000 円
需用費（消耗品費）	250,000 円
備品購入費	82,000 円



仕分け作業（配膳室）



仕分け作業（配膳室）



食缶等運搬作業



配膳作業（各教室）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		学校教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	64	中学校保健管理費		款	10 教育費	
事業開始年度		平成30年度		項	03 中学校費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 学校管理費	
当初予算額 A		3,486,000 円		目的	学校医と連携を図り、生徒の健康管理を充実する。	
財源内訳	国・県支出金	0 円				
	地方債	0 円				
	その他	0 円				
	一般財源	3,486,000 円				
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	5,809,500 円		
【事業名称】	事業費		国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【定期健康診断】	2,055,000円		0円	0円	0円	2,055,000円
学校医（内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科）、薬剤師による定期健康診断を実施し、生徒の健康状態を把握するとともに、疾病の予防及び治療について指導を行う。 ・対象学年 内科・眼科・歯科：全学年 耳鼻咽喉科：1学年						
【各種検査】	1,231,000円		0円	0円	0円	1,231,000円
血液検査、尿検査及び心電図検査を実施し、生徒の健康状態を把握し、疾病予防に努める。 ・対象学年 血液検査：2学年 尿検査：全学年 心電図検査：1学年						
【インフルエンザ対策事業】	200,000円		0円	0円	0円	200,000円
インフルエンザの予防対策として、マスク、ハンドソープ、消毒液等を購入し、各施設へ配布するとともに、手洗いやうがいの励行を指導する。						

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		教育総務課
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	67	中学校整備費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	03 中学校費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 学校管理費
当初予算額 A		11,000,000 円		目的	施設の維持管理の徹底及び教育環境の安全確保と向上を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	基金	10,000,000 円		
	一般財源	1,000,000 円			
人件費コスト B		1.0人役	7,745,000 円	総事業費 A+B	18,745,000 円

中学校を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕、工事を実施する。

■主な工事

中学校消防設備修繕工事（第二中学校）

中学校電気設備改修工事（第二中学校、第三中学校）



第二中学校



第三中学校

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	70	中学校教育振興費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	03 中学校費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 教育振興費
当初予算額 A			17,859,000 円		
財源内訳	国・県支出金	国 県	3,587,000 円		
	地方債		0 円		
	その他		0 円		
	一般財源		14,272,000 円		
人件費コスト B		0.5人役	3,872,500 円	総事業費 A+B	21,731,500 円

目的
生徒の学習環境を整えることにより、生徒の学習意欲の向上を図り、創造性豊かな学習を実践する。

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【中学校教育振興費】	12,004,000円	9,000円	0円	0円	11,995,000円
教材備品、図書を整備し教育環境の充実を図る。 遠距離通学生徒の登下校にかかる保護者負担の軽減と安全確保を図る。					
【理科教育等設備整備事業】	1,944,000円	972,000円	0円	0円	972,000円
理科教育等設備整備補助金（国1/2）を活用し理科等にかかる教材の充実を図る。					
【部活動地域指導者活用支援事業】	3,911,000円	2,606,000円	0円	0円	1,305,000円
専門的指導者がいない中学校の部活動において実技指導力を備えた地域の指導者の活用を支援する。 （国1/3、県1/3）					



老朽化し漏電の可能性があるスポットライト（第二中学校）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	学校教育課		
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	73	教育研究指定校事業費		款	10 教育費	
事業開始年度		平成30年度		項	03 中学校費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 教育振興費	
当初予算額 A		1,001,000 円		目的	教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に向けた実践研究とその研究結果の普及を図る。また各教科の目標や内容に照らした生徒の学習状況を把握し、今後の教育課程等の工夫改善を図る。	
財源内訳	国・県支出金	県10/10	1,000,000 円			
	地方債		0 円			
	その他		0 円			
	一般財源		1,000 円			
人件費コスト B	0.1人役	774,500 円	総事業費 A+B	1,775,500 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【みんなのまちづくりプロジェクト事業】	1,001,000円	1,000,000円	0円	0円	1,000円

生徒が身近な地域を素材とし、「現状把握～創造～実践」といったサイクルの中で、学ぶことの意義や学びと社会のつながりを実感できるプロジェクト学習を展開し、学習意欲、知的好奇心といった「学ぶ力」育むことを図る。中学校1校（第三中学校）を指定。



防災課との学習（第三中学校）

				予算に関する説明書ページ数		P75
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		子ども未来課
中事業	10	結婚・出産・子育て支援の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	75	幼稚園管理費			款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度			項	04 幼稚園費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01 幼稚園費
当初予算額 A		13,044,000 円		目的	幼稚園教育向上のため、必要経費を確保し運営の充実を図る。	
財源内訳	国・県支出金	国1/3 県	318,000 円			
	地方債		0 円			
	その他	諸収入外	5,933,000 円			
	一般財源		6,793,000 円			
人件費コスト B	5.6人役	43,372,000 円	総事業費 A+B	56,416,000 円		
<p>【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源</p> <p>【幼稚園管理事業】 13,044,000円 294,000円 0円 6,465,000円 6,285,000円</p> <p>※その他には、保育料軽減事業による負担金減収分(532,000円)を含む。</p> <p>園を運営していく上で必要な経費を確保し、園運営の充実を図る。また、設置設備等の安全な運転と法令等を遵守できる状態に維持するため清掃、保守点検業務を執行する。</p> <p>・市内幼稚園(2園) 安来幼稚園、宇賀荘幼稚園(休園)</p> <p>【幼稚園保育料軽減事業】 0円 24,000円 0円 △532,000円 508,000円</p> <p>1. 多子世帯の経済的負担を軽減するため、市立幼稚園に入園している3歳児のうち第3子以降の児童に係る幼稚園保育料及び一定の所得以下の世帯の第2子の児童に係る幼稚園保育料を軽減する。(県1/2)</p> <p>2. 多子世帯の経済的負担を軽減するため、市立幼稚園に入所している第3子以降の4・5歳児の児童に係る幼稚園保育料を無料とする。</p>						

				予算に関する説明書ページ数		P75
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		子ども未来課
中事業	10	結婚・出産・子育て支援の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	80	幼稚園保健管理費			款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度			項	04 幼稚園費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01 幼稚園費
当初予算額 A		405,000 円		目的	園医と連携を図り、幼児の健康管理を充実する。	
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債		0 円			
	その他	負担金	19,000 円			
	一般財源		386,000 円			
人件費コスト B	0.1人役	774,500 円	総事業費 A+B	1,179,500 円		
<p>学校保健安全法施行規則に基づき、幼稚園において幼児の健康診断及び尿検査を実施し、入園児の健康状態を把握することで健康管理を行い、疾病の予防に努める。</p>						

					予算に関する説明書ページ数		P75
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		子ども未来課	
中事業	10	結婚・出産・子育て支援の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	85	幼稚園整備費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	04	幼稚園費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01	幼稚園費
当初予算額 A		2,700,000 円		目的	幼稚園・認定こども園施設の維持管理の徹底及び教育・保育環境の安全確保と向上を図る。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		2,700,000 円				
人件費コスト B		0.1人役	774,500 円	総事業費 A+B		3,474,500 円	
<p>幼稚園・認定こども園を運営していく上で、施設の破損、劣化等による危険箇所を確認し、維持修繕・工事を実施する。</p> <p>実施事業 市内幼稚園・認定こども園職員トイレ洋式便器取替工事ほか</p>							

					予算に関する説明書ページ数		P75
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		子ども未来課	
中事業	10	結婚・出産・子育て支援の充実		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	90	幼稚園型認定こども園管理費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	04	幼稚園費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01	幼稚園費
当初予算額 A		21,434,000 円		目的	教育・保育の充実した提供のため、必要経費を確保し運営の充実を図る。		
財源内訳	国・県支出金	国1/3 県	602,000 円				
	地方債		0 円				
	その他	諸収入外	2,535,000 円				
	一般財源		18,297,000 円				
人件費コスト B		4.6人役	35,627,000 円	総事業費 A+B		57,061,000 円	
<p>【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源</p> <p>【幼稚園型認定こども園管理事業】 21,434,000円 590,000円 0円 2,943,000円 17,901,000円</p> <p>※その他には、保育料軽減事業による負担金減収分(408,000円)を含む。</p> <p>幼稚園型認定こども園を運営していく上で必要な経費を確保し、園運営の充実を図る。また、設置設備等の安全な運転と法令等を遵守できる状態に維持するため清掃、保守点検業務を執行する。</p> <p>・市内幼稚園型認定こども園(2園) 能義こども園、島田こども園</p> <p>【幼稚園型認定こども園保育料軽減事業】 0円 12,000円 0円 △408,000円 396,000円</p> <p>1. 多子世帯の経済的負担を軽減するため、市立幼稚園型認定こども園に入園している3歳児のうち第3子以降の児童に係る幼稚園保育料及び一定の所得以下の世帯の第2子の児童に係る幼稚園保育料を軽減する。(県1/2)</p> <p>2. 多子世帯の経済的負担を軽減するため、市立幼稚園型認定こども園に入所している第3子以降の4・5歳児の児童に係る幼稚園保育料を無料とする。</p>							

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		子ども未来課
中事業	10	結婚・出産・子育て支援の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	95	幼稚園型認定こども園保健管理費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	04 幼稚園費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 幼稚園費
当初予算額 A			591,000 円		
財源内訳	国・県支出金		0 円		
	地方債		0 円		
	その他	諸収入	17,000 円		
	一般財源		574,000 円		
人件費コスト B		0.1人役	774,500 円		総事業費 A+B 1,365,500 円

園医と連携を図り、幼児の健康管理を充実する。

目的

学校保健安全法施行規則に基づき、幼稚園型認定こども園において幼児の健康診断及び尿検査を実施し、入園児の健康状態を把握することで健康管理を行い、疾病の予防に努める。

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課	
中事業	40	青少年の健全育成	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	12	社会教育総務費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 社会教育総務費
当初予算額 A		4,227,000 円		目的	社会教育活動の活性化を進め、地域教育力の向上を図る。 地域資源を活用した体験学習を通して青少年健全育成の推進を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入	6,000 円		
	一般財源	4,221,000 円			
人件費コスト B	0.5人役	3,872,500 円	総事業費 A+B	8,099,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【社会教育事業】	3,489,000円	0円	0円	6,000円	3,483,000円

社会教育活動に携わる社会教育主事を雇用し、「子ども探検隊」を中心に青少年教育を実施する。学校・地域・家庭の連携と地域教育力の向上を図るために、社会教育委員の会を開催する。



はじめてのキャンプ



大山自然体験（大山登山）



ものづくり教室（小型掃除機製作）

【成人式開催事業】	738,000円	0円	0円	0円	738,000円
-----------	----------	----	----	----	----------

新成人の門出を祝うために成人式を開催し、大人としての自覚と「ふるさと安来市」を愛する心を養う。

平成30年安来市成人式



大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	地域振興課		
中事業	40	青少年の健全育成	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	15	結集子育て協働プロジェクト事業費		款	10 教育費	
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	01 社会教育総務費	
当初予算額 A		5,410,000 円	目的	地域住民が積極的に教育や子育て支援にかかわる環境づくりを進め、学校・家庭・地域住民の連携する仕組みをすることにより、社会全体の教育力向上を図る。		
財源内訳	国・県支出金	県				2,143,000 円
	地方債					0 円
	その他	諸収入				5,000 円
	一般財源					3,262,000 円
人件費コスト B		0.5人役	3,872,500 円	総事業費 A+B	9,282,500 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【結集子育て協働プロジェクト事業】	3,222,000円	2,143,000円	0円	5,000円	1,074,000円

学校支援・放課後支援・家庭支援を総合的に調整する地域コーディネーターを中学校区に配置し、地域内の連携により、地域全体で子育てに関わる仕組みと意識の醸成を図る。
 子育て支援に携わる地域人材の育成のための研修を行う。



花いっぱい運動での寄せ植え



地域住民に応援されるマラソン大会

【結集子育て協働プロジェクト地域コーディネーター配置事業】	2,188,000円	0円	0円	0円	2,188,000円
-------------------------------	------------	----	----	----	------------

学校・家庭・地域が連携をした教育活動をより充実したものとするため、常勤のコーディネーターを配置する。

				予算に関する説明書ページ数		P75	
大事業	70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課	
中事業	20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	10	公民館総務費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	05	社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	02	公民館費
当初予算額 A			2,978,000 円		目的	中央交流センター及び地区交流センターの共通する業務において入札契約等を包括的に行い、コスト削減や事務の効率化を図る。	
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		2,978,000 円				
人件費コスト B		0.3人役	2,323,500 円		総事業費 A+B	5,301,500 円	
<p>中央及び地区交流センターの消防用施設保守点検の業務委託等について、包括的に実施する。</p>							

				予算に関する説明書ページ数		P75	
大事業	70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課	
中事業	20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	15	中央公民館管理費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	05	社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	02	公民館費
当初予算額 A			25,777,000 円		目的	中央交流センターの維持管理を行い、生涯学習の場を提供するとともに、地区交流センターの包括的支援を行う。	
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料外	2,278,000 円				
	一般財源		23,499,000 円				
人件費コスト B		0.4人役	3,098,000 円		総事業費 A+B	28,875,000 円	
<p>安来、広瀬、伯太の3中央交流センターについて保守点検の業務委託等、施設の維持管理を行う。</p>							

大事業	70	参画・協働・行財政	担当部署	地域振興課		
中事業	20	地域コミュニティの育成	予算科目	会計	01 一般会計	
小事業	20	地区公民館管理費		款	10 教育費	
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費	
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 公民館費	
当初予算額 A			157,132,000 円			
財源内訳	国・県支出金		目的	地域コミュニティの中核である地区交流センターを中心に、地域振興事業や社会教育活動を通じて地域力の醸成を図る。		
	地方債	過疎		0 円		
	その他	基金外		15,000,000 円		
	一般財源			25,516,000 円		
人件費コスト B			0.9人役	6,970,500 円	総事業費 A+B	164,102,500 円

【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源
 【地区交流センター維持管理運営事業】 154,132,000円 0円 15,000,000円 25,516,000円 113,616,000円
 各地区交流センターの施設管理及び特色ある地域づくりを行うための地域振興事業を行う。



能義交流センターでの「子どもお話し会」



飯梨交流センターでの「飯梨川探検」

【がんばる地域おこし支援事業】 3,000,000円 0円 0円 0円 3,000,000円
 人づくりの拠点である交流センターが、地域住民と共に地域の課題を掘り下げ、その解決に向けた学習実践活動を行うことで、特色ある地域づくりを行う。

- 1) 地域ビジョン作成支援事業 2) 地域力醸成企画提案事業 3) 研修派遣事業

成果指標	現状値	目標値
地域ビジョン作成支援事業実施館数	8	3



[地域ビジョン作成支援事業]
 下山佐交流センターでの「下山佐を語る会」



[地域力醸成企画提案事業]
 十神交流センター「縁や縁やカフェ」

大事業	70	参画・協働・行財政		担当部署		地域振興課
中事業	20	地域コミュニティの育成		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	30	地区公民館整備費			款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度			項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	02 公民館費
当初予算額 A			136,000,000 円		目的	地区交流センター施設の整備及び改修工事を行う。
財源内訳	国・県支出金	国	42,397,000 円			
	地方債	過疎	84,800,000 円			
	その他	基金	8,000,000 円			
	一般財源		803,000 円			
人件費コスト B		0.2人役	1,549,000 円		総事業費 A+B	137,549,000 円

地区交流センターを適正に管理し安全に利用するため、老朽化した施設の撤去及び大規模改修等を行う。

- ・地区交流センター耐震補強工事及び工事監理委託（比田・下山佐・安田）
- ・比田交流センター屋根塗装工事
- ・下山佐交流センター屋根及び雨樋改修並びに水切り工事



比田交流センター建物



下山佐交流センター建物



安田交流センター建物

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化財課	
中事業	30	生涯学習の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	市立図書館費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	03 図書館費
当初予算額 A		57,129,000 円	目的	生涯学習の場として市民の知る権利を保証する。また、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究レクリエーション等に資することを目的として、図書館機能を充実させる。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入外 175,000 円			
一般財源		56,954,000 円			
人件費コスト B		1.0人役 7,745,000 円	総事業費 A+B	64,874,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【市立図書館運営事業】	57,129,000円	0円	0円	175,000円	56,954,000円

- ・市民の学びをサポートし、ニーズや課題に向き合った資料収集や情報を整備し、提供する。
- ・地域センター、学校及び放課後児童クラブ、福祉、介護施設等との積極的な連携を図り、巡回図書や団体貸出を実施することで、図書館から遠距離の地域への住民サービス等を行う。
- ・インターネットを利用した図書館サービスを充実させ、利用者や、資料の貸し出しの増加を図る。
- ・講演会・読書会・展示会・おはなし会・図書館のつどい・クリスマス会・コンサートなどの行事を積極的に開催し、幅広い年代の市民の学びと憩い、交流の場として図書館の整備と活用を図る。
- ・安来市地域資料を網羅し収集して図書館の蔵書を充実させることにより、市民の調査研究の支援を行う。
- ・将来の人材育成のため、幼児から図書館を活用できるよう健全育成を念頭に機能・体制を整備する。
- ・ブックスタートのPR，季節感のある館内展示、家族づれに楽しんでもらえる空間作りを行う。
- ・中海圏域をはじめとする近隣市町村との相互貸借の実施。
- ・安来市立図書館えほんセット（社会貢献活動による寄贈を利用）を活用した子育て世代への貸出の促進。

成果指標	現状値	目標値
資料貸出冊数	300,000冊	300,000冊



市内を巡回して、図書館から遠い地域へのサービスのため、本を届けます。



図書館探検ツアーの様子

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化スポーツ振興課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	10	総合文化ホール整備事業費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04 文化芸術施設費
当初予算額 A		3,200,000 円	目的	総合文化ホールが市民の交流活動、文化芸術活動、教育活動などに寄与するよう整備する。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	3,200,000 円			
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	5,523,500 円	

安来市総合文化ホールの案内標識を主要道路沿いに設置する。

事業費の内訳

- 案内標識設置工事（総合文化ホール案内標識） 3,200千円

「案内標識の設置済・設置予定箇所図」



- … H29年度設置箇所
- ☆ … H30年度設置予定箇所（変更の可能性有）

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化スポーツ振興課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	総合文化ホール運営費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04 文化芸術施設費
当初予算額 A		187,430,000 円	目的	「演じる」「観る・聴く」「集う」を基本理念に掲げ、まちづくり・ひとづくりの拠点施設となるよう管理運営を行う。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	基金外 15,919,000 円			
	一般財源	171,511,000 円			
人件費コスト B	3.2人役	24,784,000 円	総事業費 A+B	212,214,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【総合文化ホール運営事業】	160,000,000円	0円	0円	0円	160,000,000円
安来市総合文化ホール「アルテピア」の管理運営を指定管理者に委託する。					
指定管理者 : 有限会社アクティブ・プロ・株式会社 J T B 中国四国 I C 事業部共同事業体					
期間 : H29.06.01~H33.03.31					

【総合文化祭、美術展開催事業】	1,200,000円	0円	0円	0円	1,200,000円
市民に気軽に発表できる機会の提供と鑑賞をする機会を提供し、文化芸術への関心を高める。					

成果指標	現状値	目標値
安来市総合文化祭出展・参加者数	305	300
安来市美術展出展者数	101	100



(文化祭の展示会場の様子)



(美術展 合評会の様子)

【開館記念事業】	16,000,000円	0円	0円	15,900,000円	100,000円
安来市総合文化ホール「アルテピア」の開館記念事業を行う。					
(1) 市民でつくる開館記念事業					2,000千円
団体が実施する文化芸術事業で多くの市民が参加鑑賞できる事業に対して、施設利用料の一部を無料とする。					
【期間】 平成30年4月～平成30年9月					
【事業】 実施件数 9件 (平成29年度の債務負担行為により決定済み)					
(2) 開館一周年記念公演の実施					14,000千円
①「紅葉狩」をテーマとした『能と神楽の競演』					
・事前に「能プレセミナー」を開催					
・小中学生への「能ワークショップ」を開催					
②『開運！なんでも鑑定団』					

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		文化財課
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	20	和鋼博物館費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	04 文化芸術施設費
当初予算額 A		45,939,000 円		目的	和鋼博物館、金屋子神話民俗館について鉄に関わる歴史、文化等に関する資料の収集・保管・展示及び調査研究を行い、市民の利用に供し、文化の発展に資する。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	使用料外	8,553,000 円		
	一般財源	37,386,000 円			
人件費コスト B	1.0人役	7,745,000 円	総事業費 A+B	53,684,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【和鋼博物館管理運営業務】	42,242,000円	0円	0円	8,359,000円	33,883,000円

[事業内容]

- ・和鋼博物館三大柱である「ハガネ」「たたら」「日本刀」に関するの事業及び調査研究を行う。
- ・和鋼博物館に親しんでもらうために、子どもたちや住民が参加しやすい事業を行う。
- ・企業や大学と連携を密にし、たたら、和鋼などの調査研究を行う。
- ・施設の維持管理を行う。
- ・上記を中心とした事業展開を行い、入場者の増加を目指す。

成果指標	現状値	目標値
和鋼博物館入場者数	11,000人	10,000人

【金屋子神話民俗館管理運営業務】	3,697,000円	0円	0円	194,000円	3,503,000円
------------------	------------	----	----	----------	------------

[事業内容]

- ・金屋子神話民俗館の管理と運営を行う。

					予算に関する説明書ページ数		P77	
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		地域振興課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進			予算科目	会計	01	一般会計
小事業	25	文化学習館費				款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度				項	05	社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—				目	04	文化芸術施設費
当初予算額 A		4,796,000 円			目的	市民の生涯にわたる学習活動を支援し、文化の充実と振興を推進するため、はくた文化学習館の施設の維持管理を行う。		
財源内訳	国・県支出金	0 円						
	地方債	0 円						
	その他	0 円						
	一般財源	4,796,000 円						
人件費コスト B	0.2人役	1,549,000 円		総事業費 A+B	6,345,000 円			
はくた文化学習館について保守点検の業務委託等、施設の維持管理を行う。								

					予算に関する説明書ページ数		P77																			
大事業	20	子育て・教育・文化			担当部署		文化財課																			
中事業	60	文化・芸術活動の推進			予算科目	会計	01	一般会計																		
小事業	30	歴史・民俗資料館費				款	10	教育費																		
事業開始年度		平成30年度				項	05	社会教育費																		
事業進捗度(年度末目標)		—				目	04	文化芸術施設費																		
当初予算額 A		5,362,000 円			目的	展示品・収蔵品の保護に努め、将来にわたる文化伝承に資するとともに市民文化の醸成を図る。																				
財源内訳	国・県支出金	0 円																								
	地方債	0 円																								
	その他	使用料外	551,000 円																							
	一般財源	4,811,000 円																								
人件費コスト B	0.5人役	3,872,500 円		総事業費 A+B	9,234,500 円																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【歴史資料館管理運営事業】</td> <td>5,194,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>551,000円</td> <td>4,643,000円</td> </tr> <tr> <td>【民俗資料館管理運営事業】</td> <td>168,000円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>168,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>安来市の歴史を体系的に理解できるような展示を心がけ、資料収集・保存や分析を通して、安来市の歴史を知る上での資料整備と活用を進める。また、歴史教室・講座等の開催を通じて、児童・生徒の地域・歴史学習や市民の生涯学習に利用しやすい環境を整える。</p> <p>安来市の民俗を体系的に理解できるような展示を心がけ、安来市の民俗を知る上での資料整備と活用を進める。また、小学校の授業等、児童・生徒の地域・歴史学習に利用しやすい環境を整える。</p>									【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【歴史資料館管理運営事業】	5,194,000円	0円	0円	551,000円	4,643,000円	【民俗資料館管理運営事業】	168,000円	0円	0円	0円	168,000円
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																					
【歴史資料館管理運営事業】	5,194,000円	0円	0円	551,000円	4,643,000円																					
【民俗資料館管理運営事業】	168,000円	0円	0円	0円	168,000円																					

					予算に関する説明書ページ数		P77
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		文化財課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	40	文化財総務費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	05	社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	05	文化財保護費
当初予算額 A			18,026,000 円		目的	歴史資料である指定文化財等の保護に努め、またそれを活用することにより、地域づくり、まちづくりの振興に寄与する。	
財源内訳	国・県支出金	国1/2	621,000 円				
	地方債		0 円				
	その他	基金外	8,000,000 円				
	一般財源		9,405,000 円				
人件費コスト B		1.0人役	7,745,000 円		総事業費 A+B	25,771,000 円	
【事業名称】		事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	
【文化財総務事業】		691,000円	0円	0円	0円	691,000円	
市内の文化財の保護と活用を行うため、安来市文化財保護委員の会を開催し、専門的事項を調査審議する。また安来市にまつわる歴史・文化について、市民を対象とした講座を2回開催する。							
【鉄の積出港安来の調査研究】		1,907,000円	621,000円	0円	0円	1,286,000円	
「安来港と安来の町並み」が日本遺産の構成文化財に認定されたのを受け、文献史料などを手がかりに鉄の積出港安来の実像を明らかにする。							
【堀尾吉晴共同研究会】		335,000円	0円	0円	0円	335,000円	
戦国大名 堀尾吉晴公ゆかりの2市1町（安来市、松江市、愛知県大口町）で、堀尾吉晴公について事実に基づく研究及びストーリーを作成し、その成果を3市町のみならず広く共有しPRすることにより、全国的に認知度を深め、今後のまちづくりに寄与する。							
【全国山城サミット安来大会】		8,000,000円	0円	0円	8,000,000円	0円	
第25回全国山城サミット安来大会に関する開催委託料 開催日：平成30年9月23日、24日 会場：安来市総合文化ホールアルテピア、月山富田城							
【指定文化財保存修理事業補助】		6,783,000円	0円	0円	0円	6,783,000円	
県指定有形文化財並河家住宅の傷みが大きくなった土蔵の解体修理及び主屋の部分修理を県補助事業で行い、老朽化した清水寺の防火設備（自動火災報知設備）の更新を国庫補助事業で行い、補助残分の1/3を市負担とする。							
【加納辰夫文書調査】		310,000円	0円	0円	0円	310,000円	
画家加納辰夫の平和希求運動に関する文書を、末永く保存・活用するため基礎的な調査を行う。							

				予算に関する説明書ページ数		P77
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		文化財課
中事業	60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	45	史跡富田城整備事業			款	10 教育費
事業開始年度		平成27年度			項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	05 文化財保護費
当初予算額 A		150,055,000 円		目的	月山富田城の整備を行うことにより、貴重な文化財を後世に残すと共に文化財を活かしたまちづくりを進める。	
財源内訳	国・県支出金	国定額	83,753,000 円			
	地方債	一般補助	49,200,000 円			
	その他	諸収入	5,000 円			
	一般財源		17,097,000 円			
人件費コスト B	2.0人役	15,490,000 円	総事業費 A+B	165,545,000 円		

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
--------	-----	--------	-----	-----	------

【史跡富田城跡整備事業】	117,739,000円	58,914,000円	46,600,000円	0円	12,225,000円
--------------	--------------	-------------	-------------	----	-------------

月山富田城跡を地域のシンボルとして、観光資源あるいは生涯学習の場として活用できるよう城跡の顕在化を図るような整備を行う。平成30年度は千畳平・馬乗馬場地区の整備、歴史資料館の改修等を実施する。

【史跡富田城跡買上げ事業】	29,355,000円	23,339,000円	2,600,000円	5,000円	3,411,000円
---------------	-------------	-------------	------------	--------	------------

月山富田城跡保存活用の実施にあたって、事前に史跡地内の公有地化を図る。平成30年度は山頂部本丸周辺等の買上げを実施する。

【史跡富田城跡発掘調査事業】	2,961,000円	1,500,000円	0円	0円	1,461,000円
----------------	------------	------------	----	----	------------

月山富田城跡の整備活用を行うにあたって、事前に基礎データを得るために発掘調査等を実施する。平成30年度は千畳平・馬乗馬場地区等の発掘調査を実施する。



大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化財課		
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01	一般会計
小事業	50	発掘調査事業費		款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度		項	05	社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	05	文化財保護費
当初予算額 A			4,468,000 円			
財源内訳	国・県支出金	国1/2	600,000 円			
	地方債		0 円			
	その他	諸収入	3,104,000 円			
	一般財源		764,000 円			
人件費コスト B		1.0人役	7,745,000 円		総事業費 A+B	12,213,000 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【市内遺跡発掘調査等】	1,202,000円	600,000円	0円	0円	602,000円
各種開発調査に先立ち、埋蔵文化財の有無を確認するために試掘調査や、重要遺跡の範囲確認調査を行う。					
【和田南土地区画整理事業に伴う発掘調査】	3,104,000円	0円	0円	3,104,000円	0円
和田南土地区画整理事業に伴い、予定地内に存在する埋蔵文化財について調査を行う。 平成29年度に現地調査を行い、平成30年度は報告書の編集、刊行を行う。					
【発掘調査整理作業室管理事業】	162,000円	0円	0円	0円	162,000円
発掘調査によって出土した遺物等の記録保存のため、整理作業を進める作業室の管理を行う。					

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		文化財課
中事業	60	文化・芸術活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	55	史跡公園管理費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	05 文化財保護費
当初予算額 A		10,909,000 円		目的	史跡公園等の管理運営を行い、来訪者の利便性の確保と文化財の活用を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	0 円			
	一般財源	10,909,000 円			
人件費コスト B	0.5人役	3,872,500 円	総事業費 A+B	14,781,500 円	
【事業名称】		事業費	国・県支出金	地方債	その他 一般財源
【古代出雲王陵の丘造山公園指定管理事業】		2,151,000円	0円	0円	0円 2,151,000円
古代出雲王陵の丘造山公園の管理者を地元団体に依頼することにより、行政と地域が一体となった地域振興を展開し、同公園の有効利用を進めるための指定管理料。					
【史跡公園管理事業】		5,208,000円	0円	0円	0円 5,208,000円
史跡公園等を保護活用するための維持管理経費。					
【史跡公園整備事業】		1,500,000円	0円	0円	0円 1,500,000円
古代出雲王陵の丘造山公園の頂上部園路の舗装工事費。					
【史跡公園施設修繕事業】		2,050,000円	0円	0円	0円 2,050,000円
史跡公園の老朽化等により破損した施設の修繕に係る経費。					

大事業	70	参画・協働・行財政	担当部署	人権施策推進課
中事業	30	人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	20	人権同和教育総務費		款 10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項 05 社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目 06 人権同和教育費
当初予算額 A		6,684,000 円	目的	人権・同和問題の早期解決、あらゆる人権課題の啓発のため、地域と行政が一体となった取り組みを推進する。
財源内訳	国・県支出金	292,000 円		
	県			
	地方債	0 円		
	その他	諸収入		
一般財源		6,380,000 円		
人件費コスト B	0.9人役	6,970,500 円	総事業費 A+B	13,654,500 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【人権同和教育事業】	6,684,000円	292,000円	0円	12,000円	6,380,000円

- ・人権同和教育指導講師2名による啓発活動の実施
- ・安来市人権・同和教育推進協議会の活動の推進
 団体、企業、地域、学校・保育、行政の5つの部会において、研修会等の事業を行う。
 (協議会委員 約80人)
 (主な事業)
 人権フェスティバル「つなげて未来や」の開催
 安来市企業等人権・同和問題研修会の開催
 各地区人権・同和教育推進協議会の活動支援

成果指標	現状値	目標値
男女共同参画の視点に立った学習会を開催している地域自主組織	23	24
男女共同参画に関する講座等の実施回数	9	30
「生活自立支援のための講座」等を開催している地域自主組織	2	8

【人権フェスティバル】



1日人権擁護委員によるPR活動

				予算に関する説明書ページ数		P79	
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		文化財課	
中事業	60	文化・芸術活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	60	文化振興費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	05	社会教育費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	07	文化振興費
当初予算額 A		8,894,000 円		目的	安来市の文化・芸術活動の振興を図り、市民の文化向上に資する。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		0 円				
	一般財源		8,894,000 円				
人件費コスト B	0.3人役	2,323,500 円	総事業費 A+B	11,217,500 円			
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 【加納美術館指定管理】 8,894,000円 0円 0円 0円 8,894,000円 指定管理者に管理運営を委託し、施設管理と展示・企画運営を行う。							

				予算に関する説明書ページ数		P79	
大事業	20	子育て・教育・文化		担当部署		文化スポーツ振興課	
中事業	50	スポーツ活動の推進		予算科目	会計	01	一般会計
小事業	10	保健体育総務費			款	10	教育費
事業開始年度		平成30年度			項	06	保健体育費
事業進捗度(年度末目標)		-			目	01	保健体育総務費
当初予算額 A		102,957,000 円		目的	スポーツ・レクリエーション活動の推進及び活性化を図り、市民の健康づくりの促進と交流人口の拡大を図る。		
財源内訳	国・県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他	使用料外	19,909,000 円				
	一般財源		83,048,000 円				
人件費コスト B	1.8人役	13,941,000 円	総事業費 A+B	116,898,000 円			
【事業名称】 事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源 【スポーツ推進審議会開催事業】 269,000円 0円 0円 0円 269,000円 スポーツ推進計画の進捗管理等を行うとともに、国・県計画と市の総合計画を踏まえ市の第2期スポーツ推進計画を策定する。(年3回開催予定) 【スポーツ活動全国大会等派遣支援事業】 500,000円 0円 0円 0円 500,000円 世界大会及び国体等の全国大会に出場する選手に対し激励金を交付する。 【スポーツ推進委員に関する事業】 1,311,000円 0円 0円 0円 1,311,000円 地域のスポーツおよび健康づくり団体等と連携し、ニュースポーツの普及や地域におけるスポーツ事業等の企画立案および実践活動を通じて、市民の体力づくり、健康づくりの推進を図るとともに、各種研修会への参加により指導者資質の向上を図る。							

【島根スサノオマジック関連事業】 400,000円 0円 0円 0円 400,000円

安来市内の小学校に島根スサノオマジックの選手を招き、児童と一緒に体育の授業等を行うことにより、児童の運動への関心を高め体力向上と健全育成を図る。(4校で実施予定)

さらに、島根スサノオマジックの選手を講師に招き、市内の小中学生等を対象とした合同のバスケットボール教室を開催し、技術力の向上とバスケットボールを学ぶ児童生徒の交流を図る。



島根スサノオマジック「夢授業」

【なかうみマラソン全国大会開催事業】 13,136,000円 0円 0円 6,405,000円 6,731,000円

マラソン大会を通じて市民の体力づくりと健康への意識付けや、子どもたちに幼少期よりスポーツに親しむきっかけを提供することにより体力の向上を図り、市民の一体感を育む。

また市内外からのマラソン愛好家や観光客を迎え、安来市の情報や魅力を広く発信していく。

- 期日：平成30年11月4日（日）
- 場所：和鋼博物館前広場
- コース
計測：ハーフマラソン、10km、5km、2km
非計測：ファミリーマラソン2km、
ウオーキング4km、ウオーキング8km
- スポーツ振興くじ助成 6,400,000円



なかうみマラソン全国大会

【体育文化施設指定管理事業】 73,195,000円 0円 0円 13,499,000円 59,696,000円

体育施設の管理運営を指定管理者に委託し、スポーツ事業の促進と体育施設の利用者増を図る。

成果指標	現状値	目標値
施設利用者数（人）	146,700	125,300

※安来市民体育館が耐震補強工事を平成30年8月より実施のため利用者減を見込む

【安来市体育協会補助事業】 11,600,000円 0円 0円 0円 11,600,000円

安来市体育協会に補助金を交付し、スポーツ・レクリエーション活動の普及・推進を図ることにより市民の健康・体力の維持増進と競技力の向上、スポーツを通じた地域コミュニケーションの醸成を図る。

【その他スポーツ振興事業】 2,546,000円 0円 0円 5,000円 2,541,000円

- ・体育施設保険料
- ・スポーツ指導者研修会 ほか

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		文化スポーツ振興課
中事業	50	スポーツ活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	15	体育施設管理費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	06 保健体育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 体育施設費
当初予算額 A		13,686,000 円		目的	適切な体育施設の管理のもと、スポーツの場を提供するとともに、利用者の利便性向上を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	手数料外	810,000 円		
	一般財源	12,876,000 円			
人件費コスト B	0.8人役	6,196,000 円	総事業費 A+B	19,882,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【体育施設環境整備事業】	662,000円	0円	0円	0円	662,000円
体育施設の除草等の環境整備を行い、安全の確保に努める。					
【体育施設修繕事業】	4,000,000円	0円	0円	0円	4,000,000円
体育施設の維持管理、施設修繕を行い、安全で快適なスポーツ環境を提供する。					
(管理施設)					
・ 社会体育施設					
「安来球場」・「安来西部球場」・「伯太運動広場」					
「安来南体育館」・「広瀬体育館」・「伯太体育館」					
「広瀬勤労者体育センター」・「東比田運動広場」・「山佐運動広場」					
・ 都市公園施設					
「安来公園市民体育館」・「安来運動公園野球場、庭球場、陸上競技場、市民プール」					
「広瀬中央公園総合体育館、野球場、庭球場、陸上競技場」					
(修繕計画施設)					
・ 安来市民体育館、広瀬中央公園、伯太運動広場、市民プール					
【体育施設管理事業】	9,024,000円	0円	0円	810,000円	8,214,000円
体育施設の保守点検を行い、適切な施設運営を行う。					
・ 伯太体育館管理業務					
・ 広瀬勤労者体育センター管理指導業務					
・ 自家用電気工作物保安管理業務					
・ 消防用設備等法定点検					
・ 浄化槽維持管理業務					
・ 光熱水費等管理経費					

成果指標	現状値	目標値
施設利用者数(人)	28,900	34,700

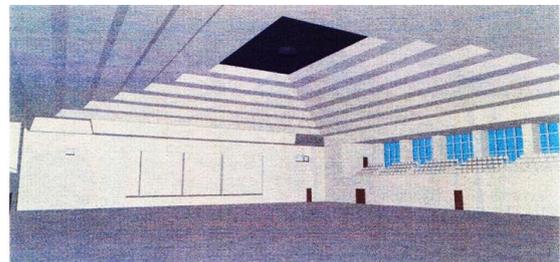
			予算に関する説明書ページ数		P79
大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署		文化スポーツ振興課
中事業	50	スポーツ活動の推進	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	20	体育施設整備費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	06 保健体育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	02 体育施設費
当初予算額 A			285,585,000 円		目的 老朽化した施設及び設備の改修を行い、安全、快適な施設を提供する。施設の利便性を向上させ、利用者人口の拡大を図る。
財源内訳	国・県支出金	国	95,925,000 円		
	地方債	過疎	179,800,000 円		
	その他	基金	5,000,000 円		
	一般財源		4,860,000 円		
人件費コスト B		1.5人役	11,617,500 円	総事業費 A+B	297,202,500 円

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【体育施設整備事業】	283,000,000円	93,340,000円	179,800,000円	5,000,000円	4,860,000円

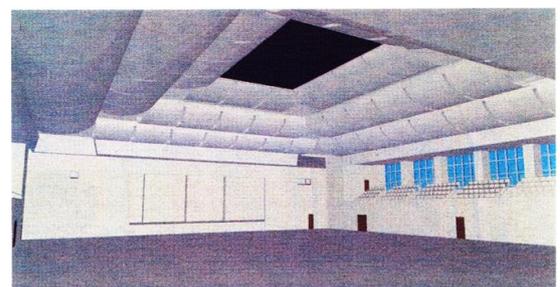
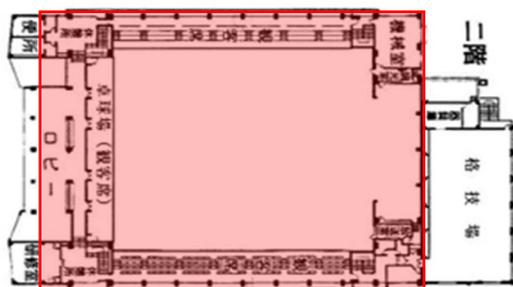
体育施設の施設改修及び整備を行い、安全で快適なスポーツ環境を提供する。

○安来市民体育館耐震補強工事

地震の際に倒壊・崩壊の危険性が高いと診断された安来市民体育館の耐震補強工事を行う。



天井改修前



天井改修後イメージ

天井改修

○安来市民体育館耐震補強工事監理委託

安来市民体育館耐震補強工事の工事監理を行う。

○安来市民体育館重油タンク改修工事

安来市民体育館の老朽化した重油タンク内面のコーティングを実施する。

○安来市民体育館トイレ改修工事

安来市民体育館の耐震補強工事に併せて、施設の和式トイレ20基を洋式化する。

○安来運動公園陸上競技場備品購入

安来運動公園陸上競技場の第4種公認を受けるために必要な備品を購入する。

【再生可能エネルギー活用調査事業】	2,585,000円	2,585,000円	0円	0円	0円
-------------------	------------	------------	----	----	----

安来市民プールの重油ボイラーの老朽化に伴い、再生可能エネルギーを活用するため、代替の熱供給システム導入の可能性調査を実施する。

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	文化スポーツ振興課
中事業	50	スポーツ活動の推進	予算科目	会計 01 一般会計
小事業	25	市民プール事業費		款 10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項 06 保健体育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目 02 体育施設費
当初予算額 A		49,108,000 円	目的	市民のスポーツ活動や健康増進、高齢期における介護予防の場である水泳プール(屋内)施設の適切な運営・管理を図る。
財源内訳	国・県支出金	0 円		
	地方債	0 円		
	その他	使用料 47,911,000 円		
	一般財源	1,197,000 円		
人件費コスト B	0.4人役 3,098,000 円	総事業費 A+B	52,206,000 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【市民プール業務委託事業】	39,500,000円	0円	0円	39,500,000円	0円
市民の健康増進や競技力向上、高齢者の介護予防対策等のため、スイミングスクール業務を委託し運営を行う。					
【市民プール維持管理経費】	9,608,000円	0円	0円	8,411,000円	1,197,000円
市民プールの維持管理を行う。					

成果指標	現状値	目標値
施設利用者数(人)	45,900	46,000



水中介護予防講座



幼児・学童コース

大事業	20	子育て・教育・文化	担当部署	給食教育課	
中事業	20	学校教育の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	79	給食センター管理費		款	10 教育費
事業開始年度		平成30年度		項	06 保健体育費
事業進捗度(年度末目標)		—		目	03 給食施設費
当初予算額 A		160,789,000 円	目的	給食センターの管理運営を行う。	
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	諸収入 3,000 円			
	一般財源	160,786,000 円			
人件費コスト B	5.2人役	40,274,000 円	総事業費 A+B	201,063,000 円	

平成30年度は第一中学校、第二中学校、第三中学校、広瀬中学校、伯太中学校、社日小学校、赤江小学校、荒島小学校、広瀬小学校、安田小学校、母里小学校、安来幼稚園に給食を配食する。
(約2,600食分)

事業費内訳

賃金（育児休業代替）	1,002,000 円
共済費	163,000 円
需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等）	21,433,000 円
役務費（通信運搬費、火災保険料等）	1,142,000 円
委託料（調理、炊飯、配送、警備、保守点検等）	136,758,000 円
備品購入費	106,000 円
その他	185,000 円



入学祝い献立



こどもの日献立



七夕献立



お月見献立